

# いろどり

第2号 令和2年4月14日(火)

# 彩

卯月

第2学年 学年通信

文責 竹川由紀子

## 臨時休業明け 学校生活の様子

昨日は、暴風警報発令による臨時休業で早朝より各家庭で警報発令時の対応をしていただきありがとうございました。今年度最初の警報による休校となり、朝早く家を出た生徒たち数名が登校しましたが、その後、家庭連絡しそれぞれ帰路に着くことができました。

さて、2年生たちは新学期第2週目の生活が始まっています。139名の新入生が附属中学校の仲間に加わり、全校生徒で学校生活を送っています。放課後の部活動では活動の様子を見学に来る1年生の姿もあり、3学年が共に部活動をする日ももうすぐです。対面式や全校オリエンテーションなど、全校生徒で一斉に行えないことはありますが、生徒会活動やそれぞれの部活動で「やりくり」をしながら、新しく仲間となった1年生との出会いを少しずつ広げています。昨年のみなさんがそうであったように、多くの1年生にとって小学校との違いに戸惑い、分からないことの多い日常の中で、2年生が力となって、充実した学校生活を支えていってくれたら大変うれしく思います。

## 学年オリエンテーション（生活・学習・保健関係など）

9日(木)に養護教諭、給食、掃除、学習、生活などさまざまなことについて各担当より話を聞きました。感染症予防の観点から、学校生活のさまざまな場面で昨年度とは違う形式で生活を行います。何のための変更かを考えて生活し、自覚のある行動を心がけて生活してほしいと思っています。資料は9日に生徒へ配布しています。特に、感染症の対応(配布資料5ページ)(裏面参照)をご覧ください、それぞれの立場で感染症予防につとめた生活を送りましょう。

### 保護者の方へ

毎日の検温、体調の確認の記録に協力をいただき、大変感謝しています。登校後、検温カードを確認し、体調がすぐれない場合は保健室で問診のあと、早退の連絡をして迎えにきていただいています。新学期が始まり、意気揚々としている生徒たちは少々の不調を我慢してしまいがちですが、感染拡大を防ぐ目的を第一と考えて、自分の身を守る、周りの健康を守る対応が求められることをご理解いただけると幸いです。

## 感染症の対応

保健室

### 感染しない・感染させない＝うつらない・うつさない

～対策は生徒・教職員・家庭・・・みんなでやる・みんなの健康をみんなで守る  
それぞれの立場で、できることをやる。みんなで協力してウイルスを抑える。～

#### 基本の行動

Point **3つの「密」** を避けましょう

- ① 換気の悪い密閉空間**
- ② 多数が集まる密集場所**
- ③ 間近で会話や発声をする密接場面**

○体調が悪いときは学校を休む。

- ・体調が悪いと思ったら、無理せず休む。(はっきりした症状がわかりにくい。)
- ・体調が悪いときは、安心して教員に伝えられる環境をみんなで作る。  
(憶測でからかったりしない。無理させない。)

○朝の健康観察をしっかりする。

- ・体温は毎朝必ず測る。その他の体調についてももしっかり自分で健康観察する。

○手洗い(石けん・アルコール消毒)をし、清潔なハンカチで拭く。

- ・外から室内に入った後・・・外出後、休憩時間後
- ・他の人が触ったものに触れた後・・・トイレ後・部活後
- ・食べ物を口に入れる前・・・食事前

※洗い残しの多い場所・・・指の間、指先、手首、親指

○マスクをつける。

- ・学校はマスクを推奨する。(布マスクも可)給食当番・配膳係は必ずマスクをつける。  
(マスクは家で捨てる。捨てる時はひもの部分を持ち、ビニール袋に入れて捨てる。)

○換気をする。1時間に1回必ず。常時教室の2方向は開けておく。

○トイレはスリッパに履き替えて使用する。(鏡前等にいつまでもいない)

○免疫力を高める。睡眠・食事・運動

※みんなで工夫しよう。どういう行動を取ればうつらない・うつさない行動が取れるか。

一人一人が考えて、行動しよう。